

Good writing の構成要素

読み手



書き手



[ライティングの設定]
誰に向かって, 何を, どのモードを使って, どのような流れで,
どのような場で (どこに), 述べるのか

[ライティングのプロセス]
目的の確認 → 発想 (テーマ決め) → 発想 (主要モード・タイプ選び) →
情報収集 → 情報整理 (アウトライン) → 執筆 → 推敲 → 評価 (チェック機能)

文章

A: Writer Responsibility

- 書き手による読み手の設定
 - ・ 読み手に対する配慮
 - ・ 読み手にとって興味深いか (オリジナリティ)

B: 内容

- 言いたいこと
 - ・ 文章全体のメイン・アイデア (論証文では「主張」)
 - ・ パラグラフのトピック
 - ・ パラグラフのサポート
 - ・ 一貫性

C: モード

- 文章の種類 (ジャンル・モード) についての知識

E: 言語面

- 基本的な言語能力 (正確さ)
 - ・ 文法
 - ・ 語彙・表現・表記・漢字
 - ・ 構文 (効果的で多様な構文など)
- レジスター (適切さ)
 - (その場にふさわしい表現形式, 文体など)

D: 構成・結束性

- 文章の構成についての知識
 - ・ マクロ構成 (文章全体の構成)
 - ・ ミクロ構成 (パラグラフ内構成)
 - ・ メタ言語
 - ・ 一貫性
 - ・ モードに合った展開方法
- 結束性
 - ・ パラグラフからパラグラフへ
 - ・ 接続表現
 - ・ 指示表現 (省略を含む)
 - ・ 語彙の連関 (言い換え・反復)

知識をまとめる方法

- 思考法
- 発想法
- 情報収集法
- 情報整理法
 - ・ 参考文献や注についての知識 (アカデミック・ライティング)

知識

- Bを支える広い知識, 背景知識

オリジナリティ: B&D&E

出典:
田中真理・阿部新 (2014)
『Good Writingへのパスポート
—読み手と構成を意識した日本語ライティング—』
くろしお出版, 巻末資料